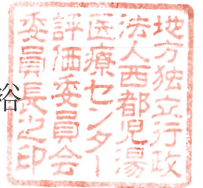


平成31年2月14日

西都市長 押川 修一郎 様

地方独立行政法人西都児湯医療センター
評価委員会委員長 松 本 英 裕



意見書

地方独立行政法人西都児湯医療センターに係る第2期中期計画（案）について、地方独立行政法人西都児湯医療センター評価委員会条例（平成26年西都市条例第28号）第2条第1号の規定に基づく当評価委員会の意見は下記のとおりです。

記

地方独立行政法人法（平成15年法律第118号）第26条第1項の規定に基づく中期計画については、別添のとおり認可することが適当である。

地方独立行政法人西都児湯医療センター第2期中期計画（案）

前文

地方独立行政法人西都児湯医療センター（以下「法人」という。）は、地域に必要な救急医療体制を備えた病院として、地域住民への安心・安全な医療の提供及び健康の保持を図る使命を確実に果たすため、地域の医療機関や関係機関・団体と連携しつつ、公的医療機関として安定的かつ継続的な運営を目指す。

そこで、西都市長から示された中期目標を達成するため、以下の中期計画を定める。

第1 中期計画の期間

2019年4月1日から2022年3月31日までの3年間とする。

第2 住民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためとるべき措置

1 医療サービス

(1) 緊急性の高い脳疾患や地域に不足している内科疾患における二次救急医療の提供

現在、西都児湯医療圏からは約4割の患者が圏外へ流出していることから、地域の医療機関と連携を図り、役割分担をしながら医療圏内で完結できる診療体制の実現を目指す。特に高齢者に多くかつ緊急性の高い脳卒中等の脳疾患患者について、MRI装置やDSA装置といった高度医療機器を備える法人が積極的に受け入れ、また呼吸器、循環器及び消化器領域の内科疾患や整形外科疾患についても、専門性を活かして高度な医療を提供する。

◆MRI (Magnetic Resonance Imaging) 装置

磁気共鳴画像診断装置の略称。強い磁石と電波を使い、体内の状態を断面像として描写する装置で、X線を使わないため被ばくの心配がない。

◆DSA (Digital Subtraction Angiography) 装置

血管造影検査装置の略称。カテーテルという細い管を手足の血管から挿入し、目的血管まで進めて造影剤を注入することで血管の走行、形態を観察することができる。

者・家族や医療機関、介護・福祉関係機関等と情報共有や調整を十分に図る。主治医や看護師、その他患者に関わる職種で役割分担の下、チーム医療として在宅医療体制のサポートを行う。

指標	2017 年度実績	2021 年度目標
退院支援件数(件)	284	350
医療相談件数(件)	572	700

(5) 地域災害拠点病院としての役割

西都児湯二次医療圏の地域災害拠点病院として、災害発生時やその他の緊急時において、患者の受入れやスタッフの派遣に適切に対応できる体制の整備を進める。

また、災害発生時等に万全な対応を図ることができるよう、院内災害対応マニュアルの整備や必要物品等の確保、他の二次医療機関をはじめとする関係医療機関との連携訓練の実施や広域災害対応訓練等への参加を通して、人材の育成に努める。特に、重要な役割を担う災害派遣医療チーム（DMAT）の派遣先での活動、他の災害派遣医療チームの受入れなど円滑な実施が図られるよう努める。

◆DMAT (Disaster Medical Assistance Team)

専門的な訓練を受けた医師、看護師、業務調査員（医師・看護師以外の医療職及び事務職員）などから構成され、大規模災害や多傷病者が発生した事故などの現場において急性期（おおむね 48 時間以内）に活動できる機敏性を持った医療チーム。

2 医療の質の向上

(1) 医療スタッフの確保

急性期医療を担う地域の中核病院として地域医療の水準の維持向上を図るため、医師会などの関係機関・団体や大学などの教育機関との連携強化を図り、新病院での体制整備を考慮した医療職確保を計画的に行う。

また、院内における教育研修制度の充実や就労環境の向上、医師の負担軽減策の実施によって優秀な医師の確保に努めるとともに、質の高い医療を提供するため優秀な看護師や医療技術職の確保に努め、適切な医療体制を維持する。

指標	2017 年度実績	2021 年度目標
常勤医師数(名)	6	8
看護師数(名)	59	75

(2) 医療安全対策の徹底

患者や職員に関する安全の確保のため、医療安全管理室を中心に医療安全に関す

中堅看護師から新人看護師へのスキル移管を積極的に行うとともに、認定看護師等の資格取得等を支援する専門・認定看護師等育成奨学金の活用と、教育・研修システムを整備する。また、年間の研修計画を策定し、計画に基づいた確実な実行とともに、職員の意識向上を図る。

ウ その他医療職

その他医療職については、部門間の情報共有や連携強化に取り組むとともに、専門性向上のための資格取得等を支援する体制を整備し、地域医療に必要な専門性や医療技術の向上を図る。

エ 事務職

事務職については、診療報酬改定など外部環境の変化に対応できる人材を育成するため、外部研修等を受講するとともに、医療経営や病院運営に関する知識や経験を蓄積し、今後の改善につなげるための院内の勉強会等を適宜計画し実施する。

指標	2017年度実績	2021年度目標
専門医、認定医、指導医等資格取得数	11	14
認定看護師資格取得者数(名)	0	4
その他医療職による外部研修(回)	98	100
事務職による院内勉強会開催(回)	3	3

(注) 専門医、認定医、指導医等資格取得数は、29年9月1日現在で在籍している常勤医師の保有資格数

3 患者サービス

(1) 患者中心の医療の提供

患者やその家族が治療内容を十分に理解し、納得した上で患者に合った治療方法を選択できるようインフォームド・コンセント（患者やその家族が自ら受ける治療の内容に納得し、自分に合った治療法を選択できるような説明を受けたうえでの同意をいう。）を徹底し、患者の意思を尊重し、他職種の医療スタッフが連携するチーム医療として支援する。

また、患者が他の医療機関でのセカンド・オピニオン（診断や治療方針について主治医以外の医師から意見を聴くことをいう。）を希望する場合は適切に対応する。

(2) 快適性の向上

患者やその家族などの病院利用者がより快適に過ごせるよう、病室や待合スペースなどの院内環境の整備を行い、必要に応じて改善策を講じる。待ち時間については、患者の流れの見直しや業務の改善に取り組み、その短縮に努める。また、退院時アンケートなどを実施して患者ニーズを正確に把握し、改善に取り組む。

集計し、計画の進捗状況を管理し、中期計画及び年度計画の着実な達成を図る。

2 業務運営の改善と効率化

(1) 効率的な予算の執行

職員のコスト意識の徹底を図り、事業の必要性や効果、緊急度などを総括的に見極め、的確な予算配分により、効率的・効果的な予算の執行を行う。

(2) 適切な人員配置

高度な専門知識と技術に支えられた良質で安全な医療を提供するため、柔軟な人事管理制度によって、診療報酬改定などの外部環境の変化に応じて医師をはじめとする職員を適切に配置する。

また、二交代制や短時間勤務など柔軟で多様な勤務体系を検討するなど、女性の医師や看護師等が働きやすい環境づくりを進め、診療体制の充実に必要な人員の確保に努める。

(3) 人事評価制度の運用

職員のモチベーション向上につながるように、職員の努力が適正に評価され、業績や能力を的確に反映できる公正で客観的な人事評価制度の運用を行う。

(4) 病院機能評価の活用

第三者による専門的かつ学術的見地に基づき、医療の質の維持向上を図る観点から、財団法人日本医療機能評価機構による病院機能評価の認定を目指す。なお、病院機能評価の認定を受けるための組織体制の強化、目標管理体制構築、業務改善等必要な準備を計画的に進める。

第4 財政内容の改善に関する目標を達成するためとるべき措置

1 持続可能な経営基盤の確立

(1) 収入の確保

地域の医療機関との連携強化に伴う診療機能の明確化や診療報酬改定への迅速かつ的確な対応により、収入の維持・増加を図る。

また、請求漏れや査定減を防止するとともに、未収金発生防止や未収金が発生した場合の原因分析の徹底と対策、未収金回収の強化に取り組む。

さらに、医療の標準化を進め、より適切な医療を提供しながら収益の確保を図る。

第5 予算（人件費の見積りを含む）、収支計画及び資金計画

1 予算（2019年度から2021年度まで）

（単位：千円）

区 分		金 額
収入		
営業収益		4,241,398
医業収益		4,232,227
運営費負担金収益		0
補助金等収益		0
その他営業収益		9,171
営業外収益		545,277
運営費負担金収益		448,427
補助金等収益		93,672
その他営業外収益		3,178
資本収入		4,151,314
運営費負担金		0
長期借入金		4,151,314
その他資本収入		0
臨時利益		3
計		8,937,992
支出		
営業費用		4,420,544
医業費用		4,420,544
給与費		2,433,885
材料費		1,114,661
経費		720,541
研究研修費		29,965
減価償却費		121,492
営業外費用		8,598
資本支出		4,279,857
建設改良費		4,180,814
投資		17,280
償還金		81,763
その他資本支出		0
臨時損失		18,000
予備費		1,200
計		8,728,199

（注）計数は、端数をそれぞれ四捨五入している。

（注）期間中の診療報酬の改定、給与改定及び物価の変動は考慮していない。

【人件費の見積り】

期間中の総額 2,433,885,000 千円を見込む。

この額は、法人の役職員に係る報酬、基本給、諸手当、法定福利費及び退職手当に相当するものである。

【運営費負担金の見積り】

運営費負担金については、毎年度総務省が発出する通知「地方公営企業繰出金について」に準じた考え方により算定する。

3 資金計画（2019年度から2021年度まで）

（単位：千円）

区 分		金 額
資金収入		9,298,341
	業務活動による収入	4,779,490
	診療業務による収入	4,234,210
	運営費負担金による収入	448,427
	補助金等による収入	93,672
	その他の業務活動による収入	3,181
	投資活動による収入	0
	運営費負担金による収入	0
	その他の投資活動による収入	0
	財務活動による収入	4,151,314
	長期借入金による収入	4,151,314
	その他の財務活動による収入	0
	前事業年度からの繰越金	367,537
資金支出		8,587,507
	業務活動による支出	4,307,650
	給与費支出	2,433,884
	材料費支出	1,114,662
	その他の業務活動による支出	759,104
	投資活動による支出	4,198,094
	有形固定資産の取得による支出	4,180,814
	その他の投資活動による支出	17,280
	財務活動による支出	81,763
	長期借入金の返済による支出	0
	その他の財務活動による支出	81,763
	次期中期目標の期間への繰越金	710,834

（注）計数は、端数をそれぞれ四捨五入している。

3 その他

前2項に定めるもののほか、料金に関して必要な事項は、理事長が別に定める。

第11 その他西都市の規則で定める業務運営等に関する事項

1 施設及び設備に関する計画（2019年度から2021年度まで）

施設及び設備の内容	予定額
病院施設・設備の整備（千円）	3,570,314
医療機器等の整備・更新（千円）	610,500

2 法第40条第4項の規定により業務の財源に充てることができる積立金の処分に
関する計画
なし

3 その他法人の業務運営に関し必要な事項

(1) 施設の維持

昭和55年に開設した建物は、耐用年数を過ぎた設備が多く、老朽化が進んでいる。地域住民に安全で安心な医療を提供するため、必要な整備を把握して安全な施設維持を行う。

第12 その他業務運営に関する重要目標を達成するためとるべき事項

病院施設整備に向けた取組み

「地方独立行政法人西都児湯医療センター施設整備基本計画」に基づき、期間内に用地取得、基本設計、実施設計を完了し建設工事に着手する。あわせて、医療機器の選定作業を行う。